
交通局事業概要

令和4年4月15日

川崎市交通局

目 次



1	交通局理事者一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2	組織及び職員数・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3	交通事業のあらまし・・・・・・・・・・・・・・	5
4	営業所の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
5	市内の路線バスの状況・・・・・・・・・・・・	7
6	運輸実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
7	路線別の収支状況・・・・・・・・・・・・・・	9
8	川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）・・・・・	11
9	令和4年度予算の概要・・・・・・・・・・・・	12
10	主な事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13



1 交通局理事者一覧

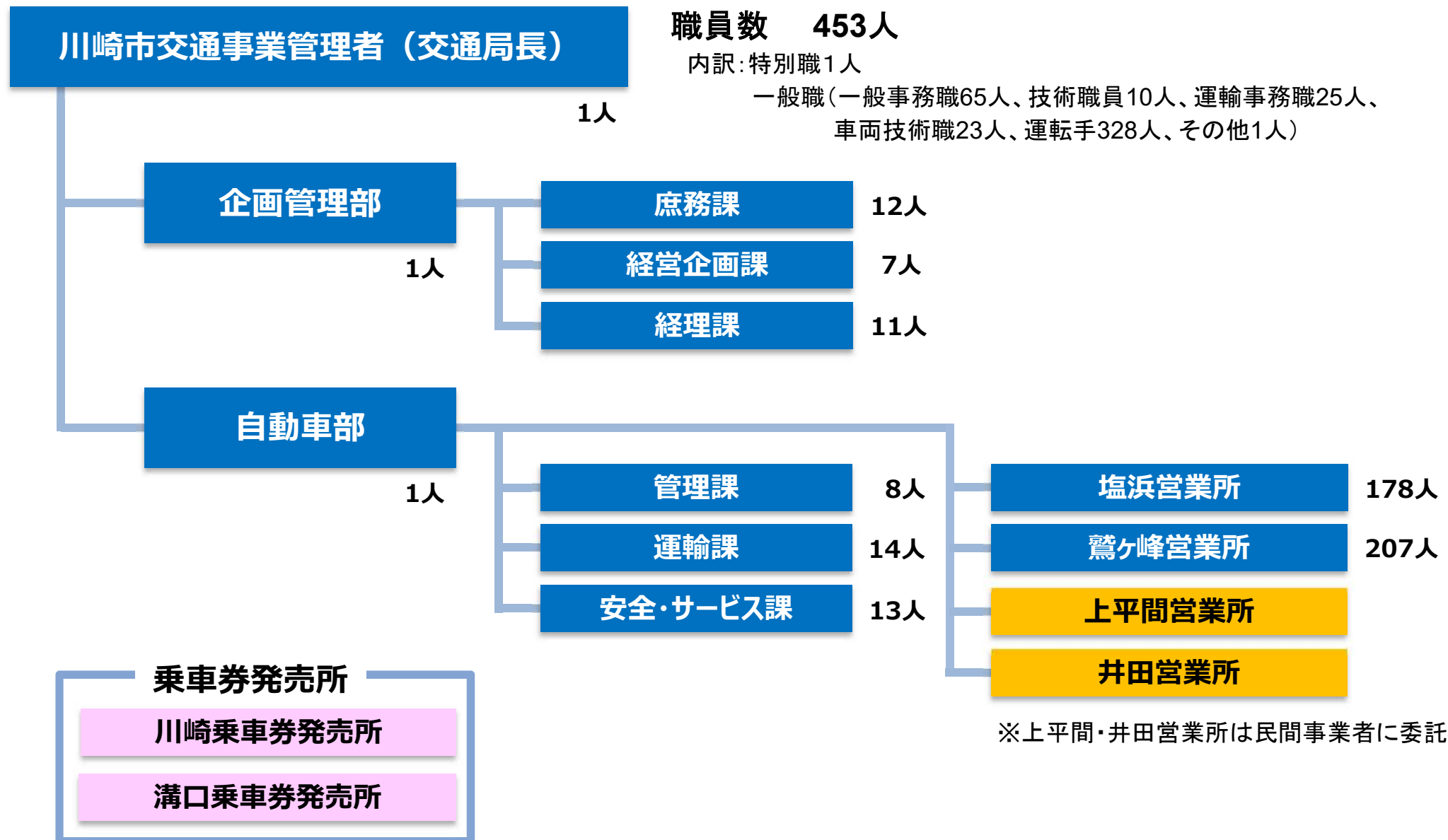
(令和4年4月1日現在)

役 職 名	職 名	氏 名	内線電話等
川崎市交通事業管理者・交通局長	技術職員	中 上 一 夫 (なかがみ かずお)	47000
企画管理部長	事務職員	斎 藤 禎 尚 (さいとう よしたか)	47100
企画管理部庶務課長	事務職員	菅 原 久 雄 (すがわら ひさお)	47101
企画管理部庶務課担当課長(労務担当)	事務職員	平 勇 治 (たいら ゆうじ)	47102
企画管理部経営企画課長	事務職員	北 條 泰 広 (ほうじょう やすひろ)	47201
企画管理部経営企画課担当課長[事業改革推進]	事務職員	植 村 宏 明 (うえむら ひろあき)	47202
企画管理部経理課長	事務職員	牛 島 祐 一 (うしじま ゆういち)	47301
自動車部長	事務職員	柳 澤 和 也 (やなぎさわ かずや)	47400
自動車部管理課長	事務職員	本 山 実 (もとやまみのる)	47401
自動車部運輸課長	事務職員	関 口 知 洋 (せきぐち とみひろ)	47501
自動車部運輸課担当課長[運行] 企画管理部経営企画課担当課長兼務	事務職員	徳 原 英 幹 (とくはら ひでき)	47502
自動車部安全・サービス課長	技術職員	持 田 正 大 (もちだ まさひろ)	47801
自動車部塩浜営業所長	技術職員	小 関 浩 行 (おぜき ひろゆき)	(288)0972
自動車部担当部長・鷺ヶ峰営業所長事務取扱	事務職員	澁 谷 淳 一 (しぶや じゅんいち)	(977)5222



2 組織及び職員数

(令和4年4月1日現在)





3 交通事業のあらまし

(令和4年4月1日現在)

市バス運行開始日	昭和25年12月15日
運行区域	川崎市全域（一部横浜市乗入）
普通乗車料金 【市内均一】	現金：大人210円 小児110円 I C：大人210円 小児105円 ※川崎病院線は大人・小児とも100円 ※たまプラーザ駅での乗降は大人220円小児110円
車両数	317両
営業路線数	28路線
運行系統数	177系統
停留所数	492箇所
認可キロ数	199.113km（市内196.423km、横浜市内2.69km）



4 営業所の概要



	塩浜営業所	鷺ヶ峰営業所	上平間営業所	井田営業所	計
所在地	川崎区塩浜2-2-1	宮前区菅生ヶ丘41-1	中原区上平間1140	高津区明津98	
営業開始	昭和37.8.7	昭和47.4.24	昭和28.7.22	昭和41.8.1	
車両数（両）	92	103	63	59	317

※車両数は令和4年4月1日時点



5 市内の路線バスの状況

- ・市内の路線バスは、市バスのほか、主に民間バス事業者 3 社が乗り入れており、川崎鶴見臨港バスが臨海部地域を、東急バスが東急東横線・田園都市線沿線を、小田急バスが小田急線沿線を主な営業エリアとしている。
- ・市バスは、市域全体を営業エリアとして、市内バス事業者における乗車人員の約 4 割のシェアを有している。

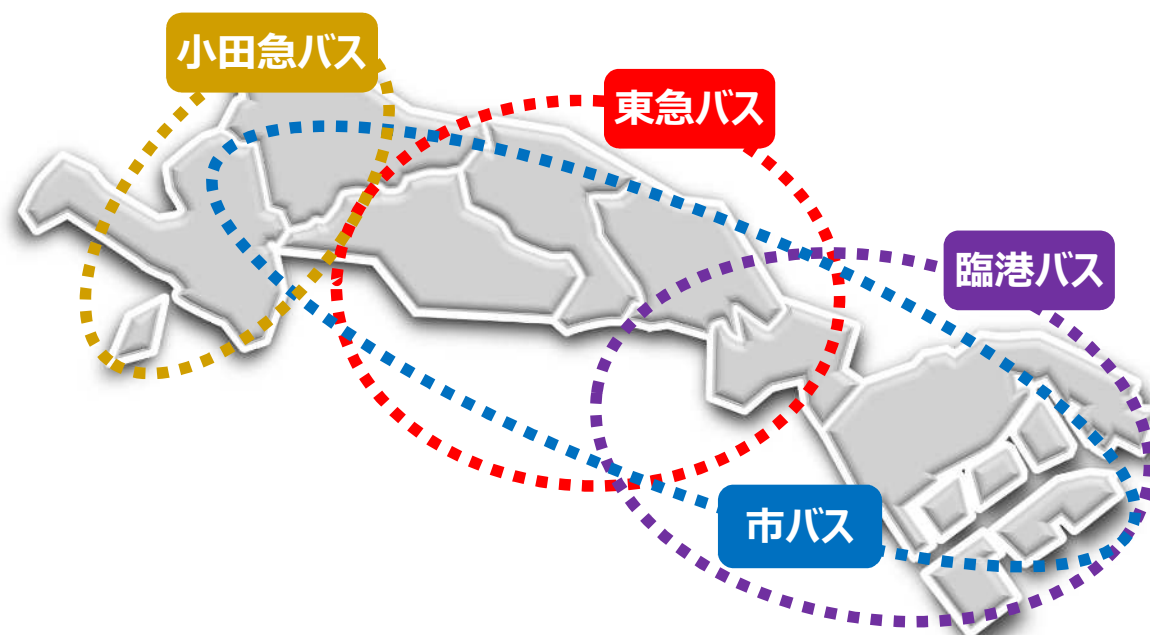
<市内バス事業者の乗車人員（令和 2 年乗合バス）>

事業者	乗車人員（人）	シェア
市バス	37,680,323	<u>37.2%</u>
臨港バス	32,180,146	31.8%
東急バス	21,526,049	21.3%
小田急バス	9,873,561	9.7%
合計	101,260,079	100.0%

（資料）『川崎市統計書』から作成

※市バスは年度（4 月～3 月）、民間バスは年間（1 月～12 月）

<市内路線バスの営業エリアイメージ>





6 運輸実績（令和２年度）

乗合バス事業

区分	数量	1日当たり
期末営業キロ	200.27km	—
停留所数	499箇所	—
運行系統数	193系統	—
営業路線数	28路線	—
営業日数	365日	—
期末在籍車両数	332両	—
延実働車両数	104,672両	287両
実車走行キロ	12,342,664km	33,816km
乗車人員	37,680,323人	103,234人
乗車料収入（税抜）	6,082,887,211円	16,665,444円

貸切バス事業

区分	数量	1日当たり
営業日数	365日	—
期末在籍車両数	5両	—
延実働車両数	167両	0.5両
実車走行キロ	9,718km	27km
乗車人員	71,419人	196人
乗車料収入（税抜）	10,983,671円	30,092円

※運行系統数には臨時系統の13系統を含む



7 路線別の収支状況

- ・ 営業係数とは

100円の収益をあげるのに必要な費用を示す指数で、

100未満であれば黒字、100を超えると赤字であることを示す。

〔令和2年度決算〕

営業係数		路線数	構成比
100 未満（黒字）		0 路線	0.0%
100 超（赤字）		28 路線	100.0%
	100 ～ 150	14 路線	50.0%
	151 以上	14 路線	50.0%
計		28 路線	100.0%

- 営業係数 = (営業費用 ÷ 営業収益) × 100
- 営業費用は、人件費、経費、減価償却費等
- 営業収益は、乗車料収入、広告料収入等



7 路線別の収支状況

〔令和2年度決算〕

路線名	主要系統	営業収益 (千円)	営業費用 (千円)	営業損益 (千円)	営業係数
埠頭線	(川崎駅～市営埠頭)	1,149,969	1,660,013	△ 510,044	144.4
東扇島循環線	(川崎駅～東扇島循環・東扇島西公園前)				
渡田線	(川崎駅～J F E 前～塩浜営業所前)	335,893	432,819	△ 96,926	128.9
水江町線	(川崎駅～水江町・塩浜)	317,715	414,135	△ 96,421	130.3
扇町線	(川崎駅～扇町)	59,221	85,804	△ 26,584	144.9
川崎病院線	(川崎駅～(直通)～川崎病院)	14,299	16,868	△ 2,569	118.0
新城線	(川崎駅西口～新城駅前・蟹ヶ谷・井田営業所前・井田病院・横須賀線小杉駅)	417,370	654,108	△ 236,738	156.7
小倉循環線	(川崎駅西口～新川崎駅～江川町)	122,282	202,328	△ 80,046	165.5
小向線	(川崎駅ラゾーナ広場～妙光寺前～上平間)	325,145	377,601	△ 52,456	116.1
神明町線	(川崎駅ラゾーナ広場～神明町～上平間～小杉駅前)	175,913	263,225	△ 87,312	149.6
御幸線	(川崎駅ラゾーナ広場～幸区役所入口～小杉駅前)	311,325	417,805	△ 106,479	134.2
等々力線	(小杉駅前～溝口駅前)	101,642	147,809	△ 46,167	145.4
宮内線	(小杉駅前～中原駅前)	95,751	142,249	△ 46,498	148.6
蟹ヶ谷線	(小杉駅前～蟹ヶ谷)	65,474	104,849	△ 39,375	160.1
有馬線	(小杉駅前・新城駅前～鷺沼駅)	258,100	340,708	△ 82,608	132.0
馬絹線	(宮前平駅～新城駅前・井田病院)	120,456	166,336	△ 45,881	138.1
久末線	(溝口駅南口～有馬第二団地前)	37,187	66,451	△ 29,264	178.7
久末団地線	(溝口駅南口・中原駅前～高田町)	53,344	105,094	△ 51,749	197.0
市民プラザ線	(溝口駅南口～市民プラザ～梶ヶ谷駅)	87,314	132,528	△ 45,214	151.8
柿生線	(溝口駅南口～鷺ヶ峰営業所前・聖マリアンナ医科大学前・新百合丘駅前・柿生駅前)	877,619	1,335,978	△ 458,359	152.2
犬蔵線	(溝口駅南口～宮前平駅・宮前区役所前・聖マリアンナ医科大学前)	536,031	732,119	△ 196,088	136.6
生田線	(生田駅～鷺ヶ峰営業所前・聖マリアンナ医科大学前・宮前平駅・宮前区役所前)	256,515	387,681	△ 131,166	151.1
新ゆり線	(新百合丘駅前～新ゆりグリーンタウン)	40,098	89,990	△ 49,892	224.4
久地線	(向丘遊園駅南口・登戸駅～溝口駅前～井田営業所前)	92,414	156,638	△ 64,224	169.5
西菅線	(向丘遊園駅南口・登戸駅～城下～西菅団地)	87,686	173,242	△ 85,556	197.6
カリタス線	(菅生車庫～登戸駅多摩川口～カリタス学園・中野島多摩川住宅)	68,317	130,755	△ 62,438	191.4
五所塚線	(登戸駅(生田緑地口)～菅生車庫)	156,151	273,969	△ 117,818	175.5
藤子・F・不二雄 ミュージアム線	(登戸駅(生田緑地口)～藤子・F・不二雄ミュージアム)	19,588	53,552	△ 33,964	273.4



8 川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）

川崎市バス事業 経営戦略プログラムについて

- 今後の人口増加と高齢化率の上昇、まちづくりの進展、運転手・整備員の不足、営業所施設の老朽化など、事業を取り巻く環境の変化等を踏まえ、市バス輸送サービスを持続的に提供し、市民やお客様の大切な交通手段を確保するため、経営計画を策定（平成31年3月）
- 計画期間は、令和元年度から令和7年度までの7年間（前期3年間、後期4年間に設定）
- 川崎市総合計画の政策や施策を効果的・効率的に推進するため、「分野別計画」として位置付け
- 後期4年間については、市バス事業を取り巻く環境の変化や前期3年間の取組状況等を踏まえて、**計画の見直しを行い、後期計画を策定**

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
川崎市 総合計画	基本計画（H28年度から概ね10年）									
	第1期実施計画		第2期実施計画（H30～R3）				第3期実施計画（R4～R7）			
交通局 経営計画	経営プログラム （H26～H30）			経営戦略プログラム（R1～R7）						
				前期3年間（R1～R3）			後期4年間（R4～R7）			

市バス事業を取り巻く環境の変化と課題

- **新型コロナウイルス感染症の影響**
 - ・ 感染拡大防止のためテレワークなど人々の行動様式が変容したことから乗車人員及び乗車料収入の大幅な減少
 - ・ 今後も感染拡大前の乗車人員への回復は困難と想定
- **自然災害への対応**
 - ・ これまでの想定を超える自然災害が頻発
 - ・ 自然災害を想定した災害時に備えた対応が必要
- **脱炭素の取組**
 - ・ 「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」と連携したバス車両等の脱炭素に向けた取組が必要
- **社会のデジタル化への対応**
 - ・ 乗車券のIC化による利便性の向上や普及への取組等が必要
- **その他の環境の変化**
 - ・ 燃料費の動向：軽油価格の急激な変動を見据えた対応が必要
 - ・ バス停留所の安全確保：神奈川県バス停留所安全性確保合同検討会で公表されたバス停留所の安全対策が必要

後期計画の基本的な考え方

- 新型コロナウイルス感染症の影響等により市バスを取り巻く環境は大きく変化する中においても、市バス輸送サービスの持続的な提供に必要となる、「安全な輸送サービス」「快適で利用しやすいサービス」「社会的要請への対応」及び「経営基盤」の**4つの基本方向を維持することで、市民やお客様の大切な交通手段を確保**していく。
- 今後においても公共交通や公営バスとしての意義・役割を果たし、安全かつ快適で利用しやすいサービスを提供するためには、今般の乗車人員・乗車料収入の減少に伴う変化への対応が喫緊の課題であることから、後期計画では、全てのサービス提供の礎となる「**経営基盤の強化**」を**重要課題**と位置付け、さらなる経営改善に取り組む。

計画の基本方向	計画の目標
安全な輸送サービス	「経営基盤の強化」を図り、「安全な輸送サービスの確保」、「快適で利用しやすいサービスの提供」、「社会的要請に対応した事業の推進」を実現
快適で利用しやすいサービス	
社会的要請への対応	
経営基盤	安全な輸送サービスの確保 快適で利用しやすいサービスの提供 社会的要請に対応した事業の推進 経営基盤の強化

計画期間中の純利益の確保

- 純損益は、**後期4年間で純利益（黒字）の確保を目指し**、資金不足額は、**安定的に純利益（黒字）を確保することにより、順次解消を図る。**



9 令和4年度予算の概要

(単位 千円)

区 分		4 年 度 予 算 額	3 年 度 予 算 額	増 減	
				増 減 額	増 減 率 (%)
収益的収支	収 入	9,348,964	9,040,577	308,387	3.41
	支 出	9,846,758	10,051,896	△ 205,138	△ 2.04
	純損益 (税抜き)	△ 597,098	△ 1,106,359	509,261	
資本的収支	収 入	1,100,247	1,011,488	88,759	8.78
	支 出	1,771,059	1,571,371	199,688	12.71
当年度末累積資金過不足額		△662,696	9,099	△671,795	



10 主な事業

(1) 運輸安全マネジメントの着実な推進

● 安全対策の強化

・輸送安全委員会の開催

- ▶ 取組状況などの情報を共有し、安全意識の向上を図るため、年4回開催

・経営トップと営業所職員による意見交換会の実施

- ▶ 経営トップ（交通局長）や安全統括管理者と営業所職員との間で、的確な情報伝達と双方向の意思疎通を図るための意見交換会を実施

・運転手実技研修の拡大実施

- ▶ 民間教習所施設を使用して行う実際の運行に則した体験型の運転手実技研修の実施回数を増加するとともに、研修対象者を拡大するなど、さらなる安全運行への取組を推進

・添乗観察の実施

- ▶ 添乗観察の結果に基づく個別指導を実施

・ドライブレコーダーとデジタルタコグラフの活用

- ▶ ドライブレコーダー映像について、発生した事故の要因分析等を行い運転手教育に活用
- ▶ 急加速や急制動などの運行データが記録可能なデジタルタコグラフを活用した指導の試行実施



輸送安全委員会



実技研修



10 主な事業

(2) 安全啓発の推進

● 輸送の安全に係る啓発活動の充実

・交通安全・バリアフリー教室の開催

- ▶ 区役所や警察署、学校等の関係機関と連携し、市バス車両を使用した交通安全・バリアフリー教室を開催

・自転車利用者に向けた注意看板の設置

- ▶ 自転車の車道走行の増加等を踏まえ、自転車接触事故の予防的対策として、主要駅の自転車等駐車場への注意看板の設置



交通安全・バリアフリー教室

(3) 市バスネットワークの形成

● 人口動態や都市基盤整備に応じた市バスネットワークの形成

・人口の増加や社会変容による通勤等の輸送需要の変化への対応

- ▶ 利用動向を踏まえたダイヤ改正、路線再編の実施

・都市基盤整備の進捗に応じたバスネットワークの検討

- ▶ 臨海部の拠点整備等に合わせた路線の検討
- ▶ 鷺沼・宮前平駅周辺地区
- ▶ 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区 など



10 主な事業

(4) バス利用環境の充実

市バスナビ

- 市バスナビの運用による運行情報の提供



停留所運行情報表示器

- バス停留所における運行情報の提供



バス総合案内表示板

- 駅改札口付近における運行情報の提供



バス車内停留所案内表示器

- バス車内における案内情報の提供



(5) 快適な移動空間の提供

● バス停留所施設の整備・維持

- 停留所施設の清掃等を定期的を実施
- 劣化の進んでいる上屋、二面式標識等について補修及び更新を実施



上屋



二面式標識



10 主な事業

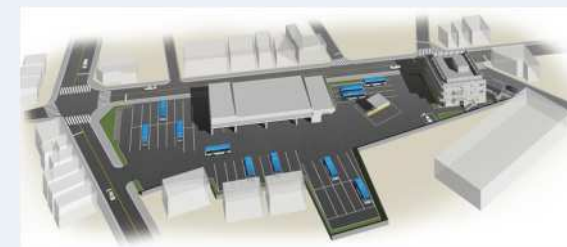
(6) 事業基盤の強化

● 安定的な事業基盤を支える人材の確保

- ▶ 大型自動車第二種免許を保有していない若年層の採用に向けた運転手（養成枠）採用選考を実施
- ▶ ホームページ、民間求人サイト、SNS等を活用して、採用選考の効果的な広報を実施

● 営業所の計画的整備

- ▶ 上平間営業所の給油所改築完了（令和5年3月末）※上平間営業所建替整備事業終了予定
- ▶ 塩浜営業所の老朽化等に対応するため、営業所施設の再整備等の検討
- ▶ 北部地域における営業所拠点の再整備について検討



建替整備後の上平間営業所

(7) 経営力の強化

● 持続可能な経営の推進

・経営状況を踏まえた事業規模の適正化

- ▶ 管生車庫の運行業務や整備業務など、全ての営業所機能を鷺ヶ峰営業所へ統合（令和4年4月から実施）
- ▶ 営業所乗車券販売窓口の営業日時等の見直し

・管理委託の継続

- ▶ 令和4年度から令和8年度までの5年間、管理委託を継続

・総人件費の抑制

- ▶ 働き方・仕事の進め方改革の推進による長時間勤務の是正
- ▶ 勤務ローテーション等の見直し（時間外勤務の縮減・平準化を含めた総人件費の抑制）

● 適正な料金体系の構築

・乗車料金改定の早期実現に向けた取組を推進（210円→220円）

- ▶ バス車両の更新等にかかる資金需要の増加などによる厳しい経営状況においても、将来にわたり市バス輸送サービスを提供し、市民やお客様の交通手段を確保するため取組を推進



10 主な事業

(8) プロモーションの推進

● 市バス広報

・市バス公式ツイッター

- ▶ 市バスイベント情報、かわさきノルフィンの情報などのほか、事故や災害時の路線運行情報などを随時発信

・市バスホームページ

- ▶ ダイア改正、運行系統変更など重要な情報のほか、お楽しみ情報などを発信

・市バスマップ

- ▶ 市バス全路線の路線図をはじめ、主要駅の乗り場案内、料金や各種制度の案内などを掲載



かわさき市バスマップ

● ホームタウンスポーツチームとの協働事業

・川崎フロンターレとの協働事業

- ▶ ホームゲーム開催時に、小杉駅から等々力陸上競技場前まで直行便を運行（アナウンスは選手が担当）

・川崎ブレイブサンダースとの協働事業

- ▶ ホームゲーム開催時に、臨時便運転手がユニフォームを着用するなど、ゲームを盛り上げる企画を実施

※ 事業者と連携し、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で両事業を実施



運転手のユニフォーム着用

(9) 新型コロナウイルス感染予防対策

● 職員等の感染予防対策

- ▶ 営業所職員を含めた勤務前検温の実施
- ▶ 営業所職員へのマスク配布とマスク着用の徹底、アルコール消毒液の設置による手指消毒の徹底 など

● バス車内における感染予防対策

- ▶ マスク着用や咳エチケット等をお願いする車内放送の実施
- ▶ 全バス車両に抗ウイルス・抗菌施工の実施 など